

(別添4)

【岐阜県垂井町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

ICT環境を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。児童生徒が自ら問題を発見し、思考、判断、表現する力を育む学びを推進する。多様な学習スタイルに対応し、時間や場所を問わず学びを深めることができる環境を整備する。主体的・対話的で深い学びを実現し、創造力や問題解決能力を高めることを目指す。

2. GIGA第1期の総括

1人1台端末の導入により、教室内外でのICT活用が一般化し、学習活動の幅が広がった。オンライン授業の経験を通じて遠隔学習のノウハウが蓄積され、児童生徒が時間や場所を問わず学べる環境が整いつつある。また、端末を活用したプレゼンテーションや動画作成が可能となり、表現力や情報発信力が向上した。さらに、プログラミング教材を活用することで、論理的思考力の育成や創造的な学びの推進にもつながっている。これらの取り組みにより、学びの個別最適化が進み、児童生徒一人ひとりの特性に応じた指導が充実しつつある。

さらに、児童生徒がICTを適切に活用できるよう、情報モラルやリテラシー教育の充実や、家庭や地域との連携を深め、学校外でもICTを活用した学びを支援する取組を行っていききたい。

3. 1人1台端末の利活用方策

・1人1台端末の積極的活用

児童生徒が学習の質を高めるため、1人1台端末の積極的な活用を推進している。ICTの利点や課題を理解し、確実に学習内容を習得するとともに、より深い学びへとつなげることを目的としている。そのため、端末の不具合や故障などのトラブルに迅速に対応できる専門的なサポート体制を整備し、安心して活用できる環境を整える。また、児童生徒のICTリテラシー向上を図るため、教職員向けの研修を充実させ、指導力の強化にも取り組む。

・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実

「個別最適な学び」と「協働的な学び」一体的な充実に向け、児童生徒が主体的に学ぶ授業推進している。デジタル技術の特性を活かした授業設計を行い、児童生徒同士が意見を交わしながら学び合う機会を増やすことで、学習活動の充実を図る。これにより、一人ひとりの理解度や習熟度に応じた学習を可能にするとともに、仲間と共に学ぶ力を育成することを目指す。

- ・学びの保障

何らかの理由で登校が難しい児童生徒や、相談室・教育支援センターを利用する児童生徒に対しては、オンライン授業や端末を活用した教育相談を実施し、学校・児童生徒・保護者をつなぐ役割を果たす。特別な支援を必要とする児童生徒や外国籍の児童生徒についても、適切なアプリや機能を活用し、それぞれの学びを支援する環境を整えていく。これらの取り組みを通じて、すべての児童生徒にとって、学びの機会が保障される環境を整えていく。